

第3回駅東口周辺地区まちづくり懇話会 議事要旨

<新しい駅通り沿線について>

- ・ 集客の仕掛けを作るなら昔の面影を残す意味もあると思いますが、今あるもの
を残して観光などの目玉にするようなことは、桶川には適さないと思います。
- ・ 駅前広場について、特に雨天時などは公共交通機関や送迎の自家用車などで混
雑することが考えられますが、対応できる面積を確保していますか。
⇒駅前広場の面積は約5,600㎡です。バスや一般車両の乗降など、駅前広
場の中で別々に対処できるよう面積を設けています。
- ・ 停車帯を設置すると今までとは全然使い勝手が変わってくると思いますが、両
側の停車帯に車が停車した場合でも、支障なく通行が可能ですか。
⇒車の規模により車幅が違うため一概には言えませんが、追い越して通行でき
る最低限必要な幅として、現在は停車帯を1.5m設けています。
- ・ 道路の幅を広げ機能が向上しても、商店が無くなり自転車置き場になってし
まってはいけないと思うのです。駅前の商店街で買物してみたい、と思われる
ようなイメージを皆さんで構築できればいいなと思います。
- ・ 自転車の事故が今一番の問題になっています。自転車と歩行者が一緒だと交通
事故の比率も上がるので、植樹帯や停車帯の配置などともあわせ、検討する必
要があると思います。
- ・ 桶川は川の町ですから、植樹帯の片側を川にするのも、他市町にない、住んで
みたいと思わせる一つの方法だと思います。
- ・ 駅通りの景観を考えたとき、植樹帯があると家並みや看板が見えなくなってい
まうと思いますが、植樹帯は本当に必要ですか。
⇒植樹帯も、けやき並木や低木のつつじなど様々な種類がありますので、今後
何種類か案を作成しご意見をいただくことになろうかと思います。
- ・ 駅東口は中山道の独自性や南小跡地などの財産があるのが大きな特徴です。こ
れをいかに街づくりに結び付けるかということが、成否を決するくらい大事な
ことだと思いますので、駅前広場と南小跡地を一体的に利用できる可能性を残
しておく必要があると思います。
⇒駅前広場と南小跡地の間には民有地がありますが、市はここを一体的に利用
したいと考えており、地権者の方へもご協力をお願いしています。

- ・ 圏央道を利用する高速バスの発着所が桶川にあると、知名度も上がるし産業にも結びつくと思いますので、街の発展に繋がるような仕掛けが欲しいと思います。
⇒最終的にはバス会社の判断になりますが、可能性は十分にあると考えています。また、そのようなことも想定した上で駅前広場を検討しています。
- ・ 駅前整備のあり方として、公共施設を中心に、商業、医療、住居など都市機能をコンパクトに構築するのがいいと思いますが、道路などのインフラ整備だけで終わってしまうことを危惧しています。市の財政を考えると厳しいのは確かですが、周辺整備も同時進行で行わなければ、いい街は出来ないと思います。
- ・ 街のイメージ、ということ言えば、噴水のある駅前というのは近隣にはない特徴になるかと思います。
- ・ 今後は生鮮3品を扱う商店との結びつきを考えなければ、商店街の存続は難しいのではないかと思います。
- ・ 今は車社会ですので、商店街周辺の方だけではなく、少し離れたところに住んでいる方を惹きつけるためにも、大きな駐車場が必要だと思います。
- ・ 地区計画を実施している先進事例を視察したことがありますが、統一感のある外観で商店街が綺麗になっても、売りたい商品と外観がミスマッチでお客さんが来ない、という話も聞きました。そういうのも考えものだと思います。
- ・ 駅通りの商店について、理想としては1階の軒の高さは揃えるとか、瓦屋根でちょっと軒先を出してもらうとか、色は茶と白と黒とか、その程度のルールはあった方がいいと思います。また中山道と駅通りの統一感があった方がいいと思います。
- ・ ルール作りは市のほうである程度主導していただかないと、各商店が個々に考えるというのは難しいのではないかと思います。
- ・ 地区計画の必要性の有無は、最終的には地権者の判断によるものと考えますが、1階については出来る限り商店としての活用を考えてもらうなど、商店街を主体としたある程度の街づくりのルールはあった方がいいと思います。防災面も含めて検討していただき、地権者の皆様へご説明いただきたいと思います。